

日本和装 ビジネス・レポート

2016年12月期決算説明資料



さあ、
始めましょ。

和装への新たな興味が広がっています。





**わずかながら減収となったものの大幅増益。
企業体質の「筋肉質」化が結実しました。**

連結

(単位：百万円)

項目	2016年12月期			2015年12月期
	①実績	前年差異 (①-②)	前年比	②実績
売上高	4,841	△137	97.2%	4,978
売上総利益 (売上総利益率)	4,364 (90.1%)	△88 (-)	98.0% (-)	4,452 (89.4%)
販売費及び 一般管理費	4,040	△171	95.9%	4,211
営業利益 (営業利益率)	323 (6.6%)	82 (-)	134.0% (-)	241 (4.8%)
経常利益 (経常利益率)	250 (5.1%)	90 (-)	156.2% (-)	160 (3.2%)
当期利益	174	103	245.0%	71



営業・経常利益段階で黒字化を達成。 男きもの関連売上げも増収。

【事業内容】

博多織の製造販売業、「男きもの専門店SAMURAI」の運営。

【はかた匠工芸の業績】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
2015年12月期 通期	790	△20	△23	△24
2016年12月期 通期	878	8	3	△11

【男きもの専門店SAMURAI来店者数】

	来店者数(人)			
	男性	女性	外国人	合計
2016年 (1月~12月)	2,303	1,427	1,198	4,928

【男きもの専門店SAMURAIの売上高】

2015年
58,365千円
↓
2016年
59,347千円 (1.7%増)





2016年12月期 連結子会社
 日本和装クレジット株式会社 (2017年1月1日 ニチクレ株式会社に社名変更)

堅調な業績を継続し、 連結業績の向上に大きく寄与。

■日本和装クレジット 当社グループのお客様向けショッピングローン事業

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
2015年12月期 通期	207	120	44	28
2016年12月期 通期	272	172	115	74

2017年1月1日の社名変更とともにホームページもオープン。

新ロゴのデザインは、会社とお客様の双方が互いを包みこんで共に飛躍する様子を頭文字の「N」で表現しています。

またアクセントとなっている「C」の文字内のダイヤスクエアは、「クレジット」「金融・資産」を表し、信頼・成果・希望を象徴するものです。





企業体質のさらなる強化で、 安定的な利益の維持へ。

連結

(単位：百万円)

項目	2016年12月期 通期実績	2017年12月期 通期計画※
売上高	4,841	5,000
売上総利益 (売上総利益率)	4,364 (90.1%)	— (—)
販売費及び 一般管理費	4,040	—
営業利益 (営業利益率)	323 (6.6%)	330 (6.6%)
経常利益 (経常利益率)	250 (5.1%)	260 (5.2%)
当期純利益	174	150

※2017年12月期の通期計画は、2017年2月13日発表数値によるものです。
今後の業績推移に応じて、修正の必要が生じた場合は速やかに公表いたします。



さあ、
始めましょ。

2017年12月期の計画(1)

話題の女性タレント、米倉涼子さんを イメージキャラクターに起用。

2017年4月まで新規申込みを受付予定の「新・きもの着付け教室」(次ページ参照)の募集イメージキャラクターに「米倉涼子さん」を起用しました(秋も引き続き予定)。

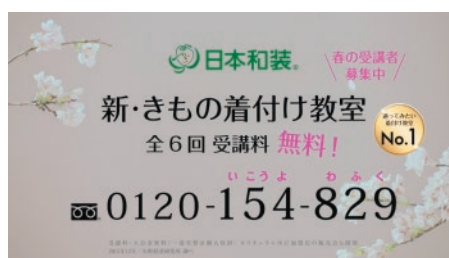
ご存知のとおり、米倉さんは、昨年話題となり高視聴率をマークしたドラマに主演。まさに旬の女性タレントです。新しい和装のすばらしさが、イメージできるタレントです。

なお、2017年12月期の新規募集のための年間広告宣伝費は、媒体選択の効率化等により前年比で10%程度のダウンを見込んでいます。



●昨年比で1.5倍程度の進捗です。

テレビCMの開始時期などが違うため、正確な昨年比は確定しておりませんが、春の新規応募人数は、昨年より1.5倍程度のペースですすんでいます。





2017年12月期の計画(2)

「無料きもの着付教室」から「新・きもの着付け教室」へ。

2017年1月にスタートした春の教室募集から、ネーミングを「新・きもの着付け教室」に変え、全15回だったカリキュラムを6回と大幅に短縮して、リニューアルをいたしました。このリニューアルが好影響し、前ページで記載したように、申込み数は大幅に増えています。

●全6回は「忙しい現代」と「和装を取り巻く環境」を反映したものです。

親から子へという和装文化の伝達が途切れつつある今、まず、自分できものを着られる喜びを体感していただくことが重要で、その目的のために、忙しい現代にあわせ6回としました。

その後、ステップアップが可能な教室を連続的に企画し、販売機会の確保と、運営の効率化を目指しています。



教室は3～6名の少人数制。40、50代を中心に、20代～70代と幅広い方が通われています。この春は全国約400教室で募集中です。

[カリキュラム]

受講ガイダンス

(カリキュラムや持ちものについてのご説明)

1 半衿の付け方と長襦袢の着方

2 お出かけまで 15分のための 「きものの着方」

3 お出かけまで 15分のための 「袋帯の結び方」(1)

4 お出かけまで 15分のための 「袋帯の結び方」(2) ／懇親会

5 コーディネート体験会&販売会

6 お出かけまで 15分のための 「おまとめ編」

6回の講義終了後は「ご招待される側の着方」「大人の浴衣と半幅帯の着こなし」などステップアップのための講義もご用意しています。

さあ、
始めましょ。

●PRテーマは「早くてきれいでカンタンに」お出かけまで15分!

自分で着付けをしてお出かけする機会が増えないと、
和装品の需要につながりません。着付けに数時間もかかってしまえば、
おのずと和装の機会が減ってしまい、二次的なきもの離れが起こってしまいます。
当社では独自のベルトを使った着付け方を提案しており、カリキュラムの最初からこの着付け法を
統一して教え、言葉通り「お出かけまで15分」を目指していただけます。

15分で完成するスピードだけでなく、
ベルト3本をつかう日本和装の着付けは
「苦しくないで着ていてとてもラク」と定評があります。

お出かけまで
15分♪





2017年12月期の計画(3)

「男きもの」をブームに。

4年目を迎える「男きもの専門店 SAMURAI」を中心に
2017年度も引き続き、当社グループ全体で
「男きもの」にブームを起こすためのPR活動、販促活動を続けていきます。

●男きもの専門店 SAMURAI

銀座歌舞伎座前、京都南座近くに2つの専門店を展開。
来店数、売上げとも伸びています。



●毎年11月11日は「サムライの日」

一般社団法人日本記念日協会に登録済。
毎年、同日には全国からたくさんの
きもの姿の男性が集い、
「大サムライ会」を開催しています。



●黒紋付をニッポンの最高礼装に

日本人がもっとも似合い、
フォーマルシーンの品格をあげる黒紋付が、
日本の最高礼装と位置づけられるために活動しています。
写真は毎年年初に実施している「黒紋付会」です。



さあ、
始めましょう。

和装を世界遺産（無形文化遺産）に。

NPO 法人和装を世界遺産にするための全国会議と連動し、さらに同様の動きをしている団体とも積極的に情報交換しながら「和装」をユネスコ無形文化遺産（通称、世界遺産）にするための活動を続けています。

●世界遺産号の全国キャラバンを続けています

機運を盛り上げるために、世界遺産号を全国に派遣。顧客、生産者などの目にふれ、意識を高める一助にしています。



無形文化遺産登録への署名活動

●「きもの日」制定とPRを側面支援

一昨年は、経済産業省が「きもの日」制定へというニュースが流れ、当社の株価がストップ高になったことは記憶に新しいものがあります。着付けを教え、和装品の流通を促すという当社のビジネスモデルにおいて「きもの日」は好要因ですので、制定、PRを支援していきます。

平成27年(2015年)5月25日 月曜日

産 経 報 聞

「きもの日」 粋だねえ

経済産業省が、職員に和装出勤を促す「きもの日」の導入を検討していることが24日分かった。国内和装産業の振興を図るため、スーツの代わりに着物で出勤できる雰囲気をつくるのが狙い。和装文化を学ぶセミナーや、イベントも開催し、着物を日常生活に取り込むことを目指す。

6月にまとめる有識者研究会の提言を踏まえ、経産省は早ければ来年度から実施する方針だ。

きもの日に指定する時期は検討中だが、夏場や11月、年末年始などが候補に挙がっている。

江戸時代の日常着だった「小袖」が、高温多湿の日本で発展した歴史を踏まえ、7～8月の夏場に開催する案では、浴衣での出勤も認める。打ち水イベントなども実施

し「省エネで夏を涼しく過ごす装い」として着物をアピールする。

また、業界団体が「きもの日」に設定した11月15日や、仕事始め・仕事納めに着用する案もある。

着物の出荷額は昭和50年代のピーク時に1兆8000億円規模に上ったが、現在は3010億円（平成25年）と6分の1に落ち込んだ。消費者の「着物離れ」が進み、事業者が高額商品に軸足を移したことで、着物は「特別な日に着るもの」として日常生活から遠ざかった実情がある。

経産省幹部は「着物をもう一度、日常着にするのが最終的な目標だ。手始めに外務省や文部科学省など他省庁にも働きかけ、着物で出勤できる日を広めていきたい」と意気込んでいる。

職員が和装で出勤 経産省導入検討



会社概要

- 【 商 号 】 日本和装ホールディングス株式会社
- 【 本 社 】 東京都千代田区丸の内1-2-1 東京海上日動ビルディング新館6F
- 【 設 立 】 昭和61年(1986年)
- 【 資 本 金 】 459百万円
- 【 営 業 拠 点 数 】 全国17拠点
- 【 事 業 内 容 】 和装品全般の販売仲介ならびに加工サービス業
- 【 U R L 】 <http://www.wasou.com>

■ご注意

本資料は2016年12月期業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は2016年12月末日のデータに基づいて作成されております。本資料に掲載された意見、予測等は資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

【本資料に関するお問い合わせ先】

日本和装ホールディングス株式会社 IR担当：総合局
東京都千代田区丸の内1-2-1 東京海上日動ビルディング新館6F
TEL 03-3216-0070 FAX 03-3216-0057